

高等学校 令和 7 年度 (1 学年用)

教科 : 芸術

科目 : 音楽 I

単位数 : 2 単位

対象学年組 : 第 1 学年

教科担当者 : (1 組~6 組: 川田)

使用教科書 : 音楽 I Tutti+ (教育出版)

教科の目標 : 音楽の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。

【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目の目標 :

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 間
1 学 期	1 単元名 校歌を知ろう	【使用教材】 プリント、自作教材、教科書	【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりを理解しようとしている。	○	○	○	4
	【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりを理解することができる。	【指導項目・内容】 歌唱 ・基本的な姿勢、発声方法の学習する。 ・旋律の知覚、歌詞の内容や意味を理解する。	【思考力、判断力、表現力等】 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫しようとしている。				
	【思考力、判断力、表現力等】 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫することができる。	【学びに向かう力、人間性等】 曲種に応じた発声、視唱、歌詞及び曲想に関心をもち、意欲的、主体的に歌唱表現し、その喜びを味わうことができる。	【学びに向かう力、人間性等】 曲種に応じた発声、視唱、歌詞及び曲想に関心をもち、意欲的、主体的に歌唱表現し、その喜びを味わおうとしている。				
1 学 期	2 単元名 箏に挑戦しよう	【使用教材】 楽器、プリント	【知識及び技能】 曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を習得しようとしている。	○	○	○	12
	【知識及び技能】 曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を習得することができる。	【指導項目・内容】 箏楽 ・「カノンによるギターエチュード」 ・単音階と運指を理解する。 ・音楽用語を学ぶ。	【思考力、判断力、表現力等】 箏楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって箏楽表現を創意工夫しようとしている。				
	【思考力、判断力、表現力等】 箏楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって箏楽表現を創意工夫することができる。	【学びに向かう力、人間性等】 箏の音色や楽曲に関心をもち、意欲的に取り組むことができる。	【学びに向かう力、人間性等】 箏の音色や楽曲に関心をもち、意欲的に取り組もうとしている。				
1 学 期	3 単元名 物語の音楽に触れよう	【使用教材】 教科書、プリント	【知識及び技能】 作曲家や音楽形式について理解しようとしている。	○	○	○	3
	【知識及び技能】 作曲家や音楽形式について理解することができる。	【指導項目・内容】 鑑賞 ・多声音楽について理解する。 ・楽譜を見ながら旋律がどのように変化しているのかを学習する。 ・作曲家について学ぶ。	【思考力、判断力、表現力等】 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりを文章で表現しようとしている。				
	【思考力、判断力、表現力等】 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりを文章で表現することができる。	【学びに向かう力、人間性等】 楽曲の曲想に関心をもち、意欲的に表現活動をしている。	【学びに向かう力、人間性等】 楽曲の曲想に関心をもち、意欲的に表現活動しようとしている。				
1 学 期	4 単元名 楽譜や音の種類を学ぼう	【使用教材】 教科書、プリント	【知識及び技能】 音楽の基礎的な理論について理解しようとしている。	○	○	○	10
	【知識及び技能】 音楽に関する基礎的な理論について理解することができる。	【指導項目・内容】 音楽理論 ・音名、音符の種類、長さ、拍子の意味について理解する。 ・拍子と音の長さの割合について理解する。	【思考力、判断力、表現力等】 表現や鑑賞の学習に活用する思考力、判断力、表現力等を身に付けようとしている。				
	【思考力、判断力、表現力等】 音楽理論を表現や鑑賞の学習に活用する思考力、判断力、表現力等を身に付けることができる。	【学びに向かう力、人間性等】 音楽の基礎的な知識を生かして意欲的に表現したり取り組んだりすることができる。	【学びに向かう力、人間性等】 音楽理論に関心をもち、意欲的に取り組もうとしている。				

年間授業計画 新様式

高等学校 令和 7 年度 (1 学年用)

教 科 : 芸術 科 目 : 音楽 I

単 位 数 : 2 単 位

対 象 学 年 組 : 第 1 学 年

教 科 担 当 者 : (1 組~6 組:川田)

使 用 教 科 書 : 音楽 I Tutti+ (教育出版)

教 科 の 目 標 : 音楽の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。

【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

学 期	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準			
			知	思	態	配 当 時 間
2 学 期	1 単元名 ギターに親しもう	【使用教材】 楽器、プリント	○	○	○	12
	【知識及び技能】 ギターの音色の特徴と奏法を生かし、音楽表現をするための技能を身に付けることができる。	【知識及び技能】 曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を習得しようとしている。				
	【思考力、判断力、表現力等】 楽器表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって楽器表現を創意工夫することができる。	【思考力、判断力、表現力等】 楽器表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって楽器表現を創意工夫しようとしている。				
	【学びに向かう力、人間性等】 ギターの音色や楽曲に関心をもち、意欲的に取り組むことができる。	・それぞれのパートの旋律を知覚する。 ・運指、リズム、拍子の理解する。				
2 学 期	2 単元名 古典の音楽に触れよう	【使用教材】 教科書、プリント	○	○	○	4
	【知識及び技能】 作曲家や音楽形式について理解することができる。	【知識及び技能】 作曲家や音楽形式について理解しようとしている。				
	【思考力、判断力、表現力等】 音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴くことができる。	【思考力、判断力、表現力等】 音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴こうとしている。				
	【学びに向かう力、人間性等】 楽曲の曲想に関心をもち、意欲的に表現活動を行うことができる。	鑑賞 ・ラヴェルの作品 ・音楽の特徴や作曲家についての理解する。				
2 学 期	3 単元名 オペラにふれよう	【使用教材】 DVD、教科書、ワークシート	○	○	○	2
	【知識及び技能】 作曲家や音楽形式について理解することができる。	【知識及び技能】 作曲家や音楽形式について理解しようとしている。				
	【思考力、判断力、表現力等】 音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴くことができる。	【思考力、判断力、表現力等】 音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴こうとしている。				
	【学びに向かう力、人間性等】 楽曲の曲想に関心をもち、意欲的に表現活動を行うことができる。	鑑賞 ・「アイーダ」「トゥーランドット」 ・時代背景や作曲家の特徴、ストーリーを学ぶ。				

年間授業計画 新様式

高等学校 令和 7 年度 (1 学年用)

教 科 : 芸術 科目 : 音楽 I

単 位 数 : 2 単位

対象学年組 : 第 1 学年

教科担当者 : (1組~6組:川田)

使用教科書 : 音楽 I Tutti+ (教育出版)

教科の目標 : 音楽の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。

【知識及び技能】	芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目の目標 :

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	能	配 当 時 間
1 単元名 器楽合奏を楽しもう						
【知識及び技能】 これまで身に付けた知識や技能を生かし演奏することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 楽器の音色や楽曲に関心をもち、意欲的に取り組むことができる。	【使用教材】 楽器、プリント 【指導項目・内容】 器楽 ・課題曲数曲の中からグループごとに選曲し、グループごとに発表する。 ・弦楽器、打楽器、鍵盤楽器から選択する。	【知識及び技能】 これまで身に付けた知識や技能を生かし演奏しようとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 楽器の音色や楽曲に関心をもち、意欲的に取り組もうとしている。	○	○	○	11
2 単元名 世界の声の音楽、楽器の音楽、アジアのさまざまな音楽						
【知識及び技能】 世界のさまざまな声や楽器の特徴について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 楽曲や曲想に関心をもち、意欲的に表現活動をしている。	【使用教材】 プリント、自作教材、教科書 【指導項目・内容】 鑑賞 ・音楽の特徴、楽曲背景、その国の特徴となる楽器や踊りについて理解する。	【知識及び技能】 時代背景や国の音楽的特徴について理解しようとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴こうとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 楽曲の曲想に関心をもち、意欲的に鑑賞しようとしている。	○	○		17